

# 東京五輪がやってくる③

## 「水の怪物」フェルプス

### 圧巻の北京、7種目で世界新



リオ五輪、競泳男子200mバタフライ決勝、優勝し両手を突き上げて喜ぶ米国のマイケル・フェルプス＝リオデジャネイロ(写真提供:共同通信社)

たしたほか、200m自由形とリレー3種目を合わせて金メダルは計8個となった。出場種目全てに優勝し、前出のスピッツが1972年ミュンヘン五輪で作った1大会最多金メダル7を更なるミラクルぶり。誰も達成できなかった金メダル10個という壁をいとも簡単に突き破り、金はこれで14個。しかも7種目が世界新記録で、残り1種目が五輪新記録というからあきれるほどの強さだった。

まり、6か月の出場停止処分を受けた。周囲のサポートにも支えられてこの危機を乗り越え、それまで以上の努力をして16年リオデジャネイロ五輪で金5、銀1個と有終の美を飾った。ここにフェルプスのすごみを感じる。13年、15年と世界選手権には出場せず、全盛時と比べてどれだけの力なのかという期待と不安が入り交じった状況の中、31歳になった怪物は存分にベテランの味を發揮した。

種目	金	銀	銅	計
2000年シドニー	0	0	0	0
2004年アテネ	6	0	2	8
2008年北京	8	0	0	8
2012年ロンドン	4	2	0	6
2016年リオ	5	1	0	6
計	23	3	2	28

フェルプスの獲得メダル数  
五輪獲得メダル数

五輪で金メダルを最もたくさん手にしたアスリート、それが競泳男子のマイケル・フェルプス(米国)である。前回も紹介した200m個人メドレー4連覇をはじめ、5大会に出場して歴代1位となる23個もの金メダルを獲得した。

歴代2位がパオ・ヌルミ(フィンランド、陸上男子)、ラリサ・ラチニナ(旧ソ連、体操女子)、マーク・スピッツ(米国、競泳男子)、カール・ルイス(米国、陸上男子)の9個だから、その量産ぶりには驚かされるばかりだ。得意にしているバタフライや自由形のほか個人メドレーにも秀でた万能スイマーは

「水の怪物」と呼ばれた。

フェルプスは1985年にメリーランド州ボルティモアで生まれ、7歳で水泳を始めた。11歳でポップ・バウマンコーチと出会ったのが大きく、15歳で2000年シドニー五輪に出場。この時は200mバタフライ5位で、最初の五輪はメダルはなしに終わった。それでもその若さで五輪という大舞台を経験したことが、後に生きてくる。続く04年アテネ五輪でその才能は一気に開花し、バタフライ、個人メドレーの個人4種目とリレー2種目で金6個を奪い、銅メダルも2つ取った。

ハイライトとなったのは23歳の08年北京五輪。190cmを超える体を使った大きな泳ぎで快進撃を見せた。100mと200mのバタフライ、2000mと4000mの個人メドレーで連覇を果

た。14年に引退を撤回したが、その後も迷走した。同年秋にまた飲酒運転で捕

が、内面には多くの悩みを抱えた。04年には飲酒運転で捕まり、09年には大麻吸引疑惑を英国紙に報じられて、米国内水泳連盟から出場停止3か月などの処分を受けた。北京五輪のころの年収は約500万ドル(当時のレートで約5億円)といわれたが、偉業達成後に襲ってくる虚脱感にさいなまれたようだ。それでも、12年ロンドン五輪は100mバタフライと200m個人メドレーの3連覇を含む4つの金メダルを奪い、2つの銀メダルと合わせてメダル総数は22個となった。ラチニナの歴代通算最多メダル18を上回る五輪レコードを作り、ロンドン五輪後の年収は推定1200万ドル(同9億6000万円)。いったんは引退を表明した。

5輪キャリアのスタートとなった、最も愛する種目、200mバタフライで金メダルを取り戻し、200m個人メドレーでは五輪競泳史上初の4連覇を達成。「子どものころから誰もやることがないことをしようと思っていた」と胸を張った。最後のレースは400mメドレーリレーだった。バタフライを泳ぎ、トップでアンカーにつないで23個目の金メダルで締めくくった。五輪5大会で合わせて30の個人、リレー1種目に出場し、銀3、銅2を含む28個のメダルを獲得した。この偉大な記録を上回る選手はおそらく出てこないだろう。

(後藤英文)

後藤英文 ● ごとう・ひでふみ

スポーツジャーナリスト。共同通信社で初代スポーツ専門特派員として1985年秋から2年間、ニューヨークで勤務。MLBワールドシリーズやW杯サッカー、NFLスーパーボウルのほか、夏の五輪などを取材。2013年から5年間、びわこ成蹊スポーツ大学の教授を務めた。

## 空前絶後の金メダル23個

メドレーで連覇を果

迷走した。同年秋にまた飲酒運転で捕